



時代と共に



[大縄集会]

■暖かな晴天の下、1月30日(木)大縄集会の本番の日を迎えました。各クラス3分間跳び続けて回数を記録します。数えるのは、運動委員会の児童です。練習を通して、友達と協力する大切さを学び、回数を多くするにはどうしたらよいか考えてきました。笛の合図で一斉にスタート。数を数える元気な声。苦手な子が跳べたときの歓声の声。失敗したら「ドンマイ」のかけ声。残り10秒になると、校庭全体が一つになっていました。3分間を跳び終えた達成感に子供たちの表情はさまざまです。記録更新に手を挙げて喜ぶ姿。回数が及ばず悔しくて涙してしまう子。朝の一場面でしたが、小竹小の素直で明るい子供たちの姿が見られました。

■今年度の社会科見学(3年生以上)が先日終了しました。マナーやルールを守り、思いやりのある行動がよくできていました。

3年生は、練馬区立ふるさと文化館、練馬消防署。4年生は、まいまいず井戸、羽村取水堰、羽村郷土博物館、小作浄水場。5年生は、SKIP CITY 映像ミュージアム(川口市)、おもしろ

校長 佐藤 正文

消しゴム(株)イワコー。6年生は、国会議事堂、憲政記念館、東京高等裁判所でした。

昨年度も見学をさせていただいた、組み立てながら遊べる「おもしろ消しゴム」を作っている(株)イワコー創業者の岩沢善和さん(85歳)の記事が週刊誌に掲載されました。創業時から現在までの様子がよくわかりました。30年から続いている工場見学には、年間1万人が訪れるとのこと。「いろいろな人に支えられて今がある。恩返しができたらといってやっている。」時代が変わっても、岩沢さんの変わらぬ思いは、見学した人々に元気を与えていると感じました。75歳の時の言葉「夢は寝て見るな文字にして 達成するまで 毎日見る」。目標を書いた紙を、目に見えるところに貼り、達成した時には「〇月吉日」のように期日を記入しているそうです。「世界中の子供たちを、消しゴムで笑顔にしたい」岩沢さんには、これからも、夢と希望を語っていただきたいです。

■本校の研究主題「自ら課題を見付け、追究する児童の育成～対話的に学び合い、考えを深める授業づくり～」に迫るために、研究授業を通して検証して参りました。裏面に、米倉有加研究主任よりご報告させていただきました。ぜひご覧ください。

■紅梅の蕾が膨らみ始め、季節の移り変わりを感じる頃となりました。本校の吹奏楽部のメンバーは、2月29日(土)の第40回定期演奏会に向けて日々練習をしております。皆様のご参観をお待ちしております。